

2010年度

| | | | |
|---|--|-----|-------|
| 科目名 | ゼミナール I | | |
| 担当教員 | 林 進 | | |
| 配当 | 人社3 | コード | 33630 |
| 開期 | 通年 | 講時 | 水曜日3限 |
| | | 単位数 | 4 |
| 授業テーマ | フロイトの思想(「無意識の」心理学)を通して現代人の精神状況及び現代の文化状況を探究する | | |
| 目的と概要 | フロイトの無意識(エス)と自我(エゴ)、あるいは欲動に関する著作から核心部分を抜粋したものを読み、また他のフロイト論も参照しながら、無意識の心理学の現代的意味・機能を考える | | |
| 成績評価法 | レポート(40%)と平常点(60%)で評価する | | |
| テキスト | 『図解雑学・フロイトの精神分析』(鈴木晶著、ナツメ社)、その他はプリント配布 | | |
| 参考書 | 授業中に指示する | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 『図解雑学・フロイトの精神分析』(鈴木晶著、ナツメ社)をもっていないゼミ生はなるべく早く購入してください | | |
| 講義計画 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. フロイトの略伝を読む(1) 3. フロイトの略伝を読む(2) 4. フロイトの略伝を読む(3) 5. エレンベルガーの「無意識の発見」を読む 6. E・フロムフロイト論「無意識の発見」を読む 7. フロイトの「ヒステリー研究」の意義を考える 8. フロイトの「ナルシズム入門」の意義を考える 9. フロイトの心の構造を考える——無意識からエスへ 10. 自我とは何か——フロイトの「自我とエス」を読む(1) 11. 超自我とは何か——フロイトの「自我とエス」を読む(2) 12. エスとは何か——フロイトの「自我とエス」を読む(3) 13. A・ストーのフロイト論「自我・超自我・エス」を読む(1) 14. A・ストーのフロイト論「自我・超自我・エス」を読む(2) 15. まとめ 16. 自我の防衛機制を考える(1) 17. 自我の防衛機制を考える(2) 18. 「無意識」の心理から見た「生と死」——フロイトの欲動を考える(1) 19. 「無意識」の心理から見た「生と死」——フロイトの欲動を考える(2) 20. フロイトの「悲哀とメランコリー」を読む(1) 21. フロイトの「悲哀とメランコリー」を読む(2) 22. 自殺と「無意識」の心理(1) 23. 自殺と「無意識」の心理(2) 24. A・ストーのフロイト論「攻撃・抑鬱・パラノイア」を読む(1) 25. A・ストーのフロイト論「攻撃・抑鬱・パラノイア」を読む(2) 26. 家族をめぐる「無意識」の心理(1) 27. 家族をめぐる「無意識」の心理(2) 28. 「無意識」の心理学から見た現代社会(1) 29. 「無意識」の心理学から見た現代社会(2) 30. まとめ | | | |